

2019年4月5日

各位

会社名 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号8267 東証第一部)
問合せ先 執行役 環境・社会貢献・PR・IR担当 三宅 香
(電話番号 043-212-6042)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社の最近の業績動向を踏まえ、2018年4月11日に公表した2019年2月期(2018年3月1日～2019年2月28日)の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 2019年2月期の連結業績予想の修正 (2018年3月1日～2019年2月28日)

単位:百万円

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 |
|----------------|-----------|---------|---------|-------------------------|
| 前回発表予想(A) | 8,700,000 | 240,000 | 240,000 | 35,000 |
| 今回修正予想(B) | 8,518,000 | 212,000 | 215,000 | 23,600 |
| 増減額(B-A) | △182,000 | △28,000 | △25,000 | △11,400 |
| 増減率 | △2.1% | △11.7% | △10.4% | △32.6% |
| 前期比増減額 | 127,988 | 1,727 | 1,228 | △922 |
| 前期比増減率 | 1.5% | 0.8% | 0.6% | △3.8% |
| 前期実績(2018年2月期) | 8,390,012 | 210,273 | 213,772 | 24,522 |

2. 連結業績予想修正の理由

営業収益、営業利益、経常利益につきましては、2018年2月期の過去最高実績を更新する見込みとなりました。

一方、業績予想との対比につきましては、集中豪雨や台風、地震といった災害による店舗営業への影響とその後の消費者マインドの低下、第3四半期以降に平年より気温が高い日が続いたことによる季節商品売上への影響等を受け、主にGMS事業、SM事業、専門店事業等の国内小売事業の営業収益が想定を下回りました。

営業利益につきましては、海外で展開する諸事業は順調に推移しましたが、国内においては、経費の更なる効率運用を推進したものの営業収益の下振れに伴う荒利益高の減少をカバーするに至りませんでした。

経常利益は営業利益の下振れを主たる要因として、また、親会社株主に帰属する当期純利益においては、経常利益の下振れに加え、国内小売事業における減損損失の増加等により期初予想を下回る見込みとなりました。

以上

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。